平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名　原信ナルスホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8255　URL　http://www.hnhd.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 原　和彦
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員　(氏名) 山岸　豊後　TEL 0258-66-6711

四半期報告書提出予定日　平成25年8月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	32,565	4.7	903	△4.1	932	△8.0	541	△4.5
25年3月期第1四半期	31,109	3.3	942	△5.4	1,014	5.1	566	10.4

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　564百万円　(△14.4%)　25年3月期第1四半期　659百万円　(22.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	30.98	―
25年3月期第1四半期	32.33	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	57,522	26,477	46.0	1,515.63
25年3月期	55,313	26,350	47.6	1,508.31

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　26,477百万円　25年3月期　26,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	10.00	―	25.00	35.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		10.00	―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

【期末配当予想の未定について】
平成25年4月12日公表のとおり、当社は平成25年10月1日(予定)をもって、株式会社フレッセイホールディングスを完全子会社とする株式交換の実施を予定しており、当該影響が未確定のため、期末配当予想については、未定としております。
詳細につきましては、この四半期決算短信 【添付資料】 5ページ 「1　当四半期決算短信に関する定性情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」 をご覧ください。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,000	2.1	2,000	△8.1	2,000	△11.8	1,100	△14.8	62.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

【通期連結業績予想の未定について】
平成25年4月12日公表のとおり、当社は平成25年10月1日(予定)をもって、株式会社フレッセイホールディングスを完全子会社とする株式交換の実施を予定しており、当該影響が未確定のため、通期連結予想については、未定としております。
詳細につきましては、この四半期決算短信 【添付資料】 5ページ 「1　当四半期決算短信に関する定性情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」 をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	18,014,239 株	25年3月期	18,014,239 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	544,363 株	25年3月期	544,363 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	17,469,876 株	25年3月期1Q	17,530,214 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく監査手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

この四半期決算短信に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、この四半期決算短信 【添付資料】 5ページ 「1 当四半期決算短信に関する定性情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」 をご覧ください。

【添付資料】

目次

頁

1　当四半期決算に関する定性的情報・・・

1　当四半期決算に関する定性的情報

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が判断したものであります。

なお、将来に関する事項につきましては、不確実性を有しており、将来生じる結果と異なる可能性がありますので、記載しております事項に対する判断は、以下記載事項及び本項目以外の記載内容も合わせて慎重に行われる必要があります。

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全般的な景況感の改善や一部業種が先行して収益改善を示すなどの動きが見られましたが、実体経済全体の好転にまでは至りませんでした。

このような状況において、当第１四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高が325億65百万円（前年同期比4.7％増）、営業利益が９億３百万円（前年同期比4.1％減）、経常利益が９億32百万円（前年同期比8.0％減）、四半期純利益が５億41百万円（前年同期比4.5％減）となり、１株当たり四半期純利益は30円98銭となりました。

売上高、営業利益につきましては、以下に記載いたしますセグメント区分ごとの要因により変動しております。

経常利益につきましては、営業利益の減少により減少しております。

四半期純利益につきましては、経常利益の減少により減少しております。

当第１四半期連結累計期間における各セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

①　スーパーマーケット

（全般）

競合状況の激化は、同業他社との間のみならず、異業種との間でも一層激しさを増しており、販売価格の継続的下落が続いております。一方で、生鮮品の相場動向、為替相場の問題や原料原価の価格改定に起因した商品原価の上昇もあり、売上総利益を確保することが難しい状況が続いております。

このような状況において、当社グループでは、競争に耐えうる強い企業体質の実現に取り組んでおります。

当第１四半期連結累計期間におきましては、新規出店店舗や改装店舗が概ね好調に推移したことや、競合店が閉鎖や改装で休業したこともあり、全店の売上高は前年同期に比べ4.8％増加いたしましたが、店舗段階の売上総利益率は、前年同期に比べ0.3ポイント減少し、23.8％となりました。

（商品政策）

生鮮品は前半と後半で相場状況が変動いたしましたが、概ね、状況に応じた対応が図れました。

また、５月中旬から６月にかけては気温上昇が早めに到来したため、行楽用品や夏物商品が早めに動き出し、売上の底上げにつながりました。

プライベートブランドの商品につきましては、生鮮相場の変動に強い商品の改定や価格競争力のある夏物商品の開発を行いました。

このほか、当社グループの購買規模を活かし、お客様にとって価格以上の価値をもった商品を選定して集中販売する「チャレンジ商品１０１」の取り組みや、当社グループ内の食品製造機能を活かし品質を兼ね備えた独自の低価格商品「パワーアイテム」の拡販を継続しております。

（販売政策）

販売計画の立案から結果の振り返りまでを体系化した週間管理の仕組みを徹底し、日々の店舗作業管理の仕組みと連動させることにより、環境や競合状況の変化にあっても、先を見据えた計画の立案や売場への具現化を継続しております。

また、行事や物日といった、いわゆるハレの日には、従来とは趣向を変えた商品提案を行い、お客様からご支持をいただくことができました。

これらにより、来店客数は、前年同期に比べ既存店で0.3％、全店で5.5％それぞれ増加し、買上点数は、前年同期に比べ、全店で0.2％増加いたしました。

（コスト・コントロール）

作業計画と連動した労働時間管理や、ISO14001の環境マネジメントと連動した環境コストの削減を進めるほか、様々な形で経営資源の適正利用、使用量の削減の取り組みを継続しております。

この結果、販売費及び一般管理費は、連結全体で前年同期に比べ３億６百万円増加いたしましたが、売上高に対する比率は23.0％となり、前年同期に比べ0.1ポイント改善いたしました。

金額の増加につきましては、店舗数の増加に伴う諸経費の増加や電気料金の値上げに伴う水道光熱費の増加、原油価格の上昇に伴う配送費の増加に加え、前年同期は実施しなかった改装１店舗の改装経費の発生によるものであります。

(出店・退店等)

出店につきましては、原信上田緑が丘店（６月・長野県上田市・売場面積2,085㎡）を新設いたしました。

改装につきましては、原信新津店（５月・新潟県新潟市・売場面積2,392㎡）について実施いたしました。

退店につきましては、該当事項はありません。

(業績)

当第１四半期連結累計期間の営業状況を示すと以下のとおりであります。

項目		当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）	前年同期比
店舗数	スーパーマーケット	70店舗	３舗増
	100円ショップ	１店舗	増減なし
店舗売上高	全店	30,931百万円	104.8%
	既存店	29,408百万円	99.7%
来店客数	全店	1,757万人	105.5%
	既存店	1,669万人	100.3%
買上点数	全店	10.82点	100.2%
客単価	全店	1,760円	99.3%

（注）１　店舗売上高及び客単価には、消費税等は含まれておりません。
２　店舗数は、当第１四半期連結会計期間末現在の設置店舗数であります。
３　既存店は、店舗開設より満13ヶ月以上を経過した店舗であります。
４　買い上げ点数は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになる商品数の平均であります。
５　客単価は、お客様が一回のお買い物でお買い上げになった金額の平均であります。
６　前年同期比は、各月の比率の平均値であります。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間におけるスーパーマーケット事業の売上高は324億43百万円（前年同期比4.7%増)、営業利益は８億14百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

② その他

(清掃事業)

外部顧客向けの販売及びスーパーマーケット事業向けの販売は、受託先の増加によりいずれも増加いたしました。この結果、前年同期に比べ売上高が2.9%、営業利益が17.7%それぞれ増加いたしました。

(情報処理事業)

外部顧客向けの販売は、自社開発パッケージソフトの市場における評価が浸透し、販路の拡大により増加いたしました。また、スーパーマーケット事業向けの販売は、情報機器の更新需要により増加いたしました。この結果、前年同期に比べ売上高が5.9%、営業利益が190.8%それぞれ増加いたしました。

(印刷事業)

外部顧客向けの販売は、メディア媒体の需要減少により若干減少いたしました。一方、スーパーマーケット事業向けの販売は、チラシ受注の増加により増加いたしました。この結果、前年同期に比べ売上高が3.1%、営業利益が110.8%それぞれ増加いたしました。

(業績)

以上の結果、当第１四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は８億92百万円（前年同期比4.1%増)、営業利益は93百万円（前年同期比68.8%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ22億９百万円増加し575億22百万円となりました。また、総負債は前連結会計年度末に比べ20億82百万円増加し310億45百万円、純資産は前連結会計年度末に比べ１億27百万円増加し264億77百万円となり、１株当たり純資産は1,515円63銭となりました。

当第１四半期連結会計期間末における各項目別の内容を示すと、次のとおりであります。

(総資産)

流動資産は146億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ４億26百万円増加したことによるものであります。なお、流動資産の構成比は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント減少し25.4%となりました。

固定資産は428億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億９百万円増加いたしました。その内容は次のとおりであり、この結果、固定資産の構成比は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント増加し74.6%となりました。

有形固定資産は、316億52百万円となり前連結会計年度末に比べ18億40百万円増加いたしました。これは主に、当第１四半期連結累計期間における新規出店１店舗への投資によりリース資産が前連結会計年度末に比べ１億73百万円増加したことと、今秋竣工を予定している在庫保管型物流センターの建設に係る設備投資により建設仮勘定が前連結会計年度末に比べ16億75百万円増加したことによるものであります。

無形固定資産は、12億29百万円となり前連結会計年度末に比べ０百万円減少いたしました。これは主に、リース資産が償却により前連結会計年度末に比べ17百万円減少したことによるものであります。

投資その他の資産は、100億６百万円となり前連結会計年度末に比べ31百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金資産が前連結会計年度に比べ１億48百万円減少したことによるものであります。

(総負債)

流動負債は199億３百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億95百万円増加いたしました。これは主に、仕入高の増加に伴い買掛金が前連結会計年度末に比べ10億62百万円増加したことと、短期運転資金の調達により短期借入金が前連結会計年度末に比べ７億円増加したことによるものであります。なお、流動負債の構成比は前連結会計年度末に比べ2.6ポイント増加し34.6%となりました。

固定負債は111億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億13百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が約定返済により前連結会計年度末に比べ３億55百万円減少したことによるものであります。この結果、固定負債の構成比は前連結会計年度末に比べ1.0ポイント減少し19.4%となりました。

(純資産)

株主資本は257億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億４百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益５億41百万円の計上が前連結会計年度末に係る剰余金の配当４億36百万円を上回ったことによるものであります。

その他の包括利益累計額は７億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加いたしました。これは、投資有価証券の時価変動により、その他有価証券評価差額金が前連結会計年度末に比べ23百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.6ポイント減少し46.0%となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ４億26百万円増加し、62億16百万円となりました。

当第１四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況を示すと、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は27億15百万円となり、前年同期に比べ14億23百万円増加（前年同期比110.2%増）いたしました。

これは主に、曜日回りの違いによる営業債権債務の決済が前年同期と異なったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は17億25百万円となり、前年同期に比べ８億66百万円増加（前年同期比100.9%増）いたしました。

これは主に、当第１四半期連結累計期間における新規出店１店舗と今秋竣工予定の在庫保管型物流センターの建設により、有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べ10億18百万円増加（前年同期比142.8%増）したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は５億63百万円となり、前年同期に比べ４億63百万円減少（前年同期比45.1%減）いたしました。

これは主に、長期借入金の約定返済が進み、長期借入金の返済による支出が前年同期に比べ３億８百万円減少（前年同期比28.8%減）したことと、短期運転資金の調達増加により、短期借入金の純増減額が５億円増加（前年同期

比250.0%増）となったことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

【第２四半期連結累計期間】

売上高660億円（当年同期比2.1%増）、営業利益20億円（当年同期比8.1%減）、経常利益20億円（当年同期比11.8%減）、四半期純利益11億円（当年同期比14.8%減）を見込んでおります。

【通期】

現時点では、公表を差し控えさせていただきます。

＜理由＞

当社は、平成25年４月12日付で情報開示を行ったとおり、株式会社フレッセイホールディングスと、当社を株式交換完全親会社、株式会社フレッセイホールディングスを株式交換完全子会社とする株式交換契約を締結しております。

この株式交換契約の効力発生日は、平成25年10月１日（予定）であり、第３四半期連結会計期間以降に当該株式交換による業績変動の影響が見込まれますが、当該影響につきましては算定中であること及び本件に関する企業結合会計の影響が未確定であることから、現時点において通期連結業績予想の公表は差し控えさせていただくものであります。

当該影響を含めた通期連結業績予想値については、判明次第公表いたします。

なお、参考に、当該株式交換の影響を含まない従前の当社グループのみの通期連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）を示すと、次のとおりであります。

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	133,000	3.5	4,000	2.5	4,000	△4.2	2,100	3.1	120.21

【上記予想値の前提条件】

売上高につきましては、主たる事業であるスーパーマーケット事業において、昨今の経済状況や原料原価の価格動向、競合状況の変化等を踏まえ、既存店売上高は通期で当年同期比0.9%の減少を見込む一方、全店売上高では新規出店３店舗により通期で当年同期比3.4%の増加を見込んでおります。

営業利益につきましては、売上総利益率0.2ポイントの改善と売上高の増加による売上総利益の増加及び当連結会計年度において発生した雪害関係の修繕に関する経費の減少を見込む一方で、電気料金や燃料関係の値上げ動向等、諸経費の増加と出店諸経費の増加を見込んでおり、結果、若干の増加を見込んでおります。

経常利益につきましては、当連結会計年度において発生した雪害に関する受取保険金の減少を見込んでおり、結果、当年同期に比べ減少を見込んでおります。

当期純利益につきましては、特別損失の減少により、当年同期に比べ増加を見込んでおります。

２　サマリー情報（注記事項）に関する情報

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当四半期連結累計期間において、連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表規則に規定する「四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理」の適用はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3 四半期連結財務諸表

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,792	6,218
受取手形及び売掛金	692	601
リース投資資産	1,862	1,806
商品及び製品	2,657	2,732
仕掛品	9	29
原材料及び貯蔵品	120	125
未収還付法人税等	84	118
繰延税金資産	574	717
その他	2,450	2,294
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	14,234	14,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,527	11,457
機械装置及び運搬具（純額）	431	407
土地	13,632	13,539
リース資産（純額）	2,101	2,274
建設仮勘定	799	2,475
その他（純額）	1,318	1,496
有形固定資産合計	29,811	31,652
無形固定資産		
のれん	0	0
リース資産	36	19
その他	1,192	1,209
無形固定資産合計	1,229	1,229
投資その他の資産		
投資有価証券	2,097	2,133
長期貸付金	18	23
繰延税金資産	1,345	1,197
敷金及び保証金	5,615	5,677
その他	966	979
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	10,038	10,006
固定資産合計	41,079	42,888
資産合計	55,313	57,522

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,873	9,935
短期借入金	300	1,000
1年内返済予定の長期借入金	2,692	2,283
リース債務	312	292
未払法人税等	674	383
ポイント引当金	6	6
役員賞与引当金	105	27
賞与引当金	986	1,477
その他	3,757	4,497
流動負債合計	17,708	19,903
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	2,124	1,769
リース債務	2,659	2,827
資産除去債務	2,527	2,548
長期預り保証金	2,691	2,744
その他	251	251
固定負債合計	11,254	11,141
負債合計	28,963	31,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	6,405	6,405
利益剰余金	16,748	16,853
自己株式	△673	△673
株主資本合計	25,640	25,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	709	732
その他の包括利益累計額合計	709	732
純資産合計	26,350	26,477
負債純資産合計	55,313	57,522

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	31,109	32,565
売上原価	22,979	24,167
売上総利益	8,129	8,398
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	6	6
従業員給料	1,224	1,274
雑給	2,080	2,152
役員賞与引当金繰入額	26	27
賞与引当金繰入額	458	456
賃借料	17	16
地代家賃	645	683
減価償却費	449	432
のれん償却額	26	0
貸倒引当金繰入額	0	1
その他	2,250	2,444
販売費及び一般管理費合計	7,187	7,494
営業利益	942	903
営業外収益		
受取利息	18	15
受取配当金	16	17
固定資産受贈益	21	―
その他	45	22
営業外収益合計	102	55
営業外費用		
支払利息	27	21
遺跡調査費	0	―
その他	2	4
営業外費用合計	30	26
経常利益	1,014	932
特別利益		
固定資産売却益	30	1
特別利益合計	30	1
特別損失		
固定資産売却損	―	5
固定資産除却損	―	11
投資有価証券評価損	10	―
減損損失	―	9
特別損失合計	10	25
税金等調整前四半期純利益	1,034	908
法人税、住民税及び事業税	484	375
法人税等調整額	△16	△8
法人税等合計	467	366
少数株主損益調整前四半期純利益	566	541
四半期純利益	566	541

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	566	541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92	23
その他の包括利益合計	92	23
四半期包括利益	659	564
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	659	564
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,034	908
減価償却費	511	486
減損損失	―	9
のれん償却額	26	0
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	1
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△0	△0
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△69	△77
賞与引当金の増減額（△は減少）	489	490
受取利息及び受取配当金	△34	△33
支払利息	27	21
投資有価証券評価損益（△は益）	10	―
固定資産売却損益（△は益）	△30	4
固定資産除却損	―	11
売上債権の増減額（△は増加）	53	90
たな卸資産の増減額（△は増加）	△115	△100
仕入債務の増減額（△は減少）	298	1,062
未払又は未収消費税等の増減額	114	49
リース投資資産の増減額（△は増加）	14	55
その他	△126	410
小計	2,204	3,389
利息及び配当金の受取額	16	18
利息の支払額	△24	△19
法人税等の支払額	△905	△673
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,291	2,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△712	△1,731
有形固定資産の売却による収入	152	118
無形固定資産の取得による支出	△38	△9
貸付けによる支出	△0	△9
貸付金の回収による収入	6	5
その他	△264	△99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△858	△1,725
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	200	700
長期借入れによる収入	300	―
長期借入金の返済による支出	△1,072	△763
リース債務の返済による支出	△130	△94
自己株式の取得による支出	△0	―
配当金の支払額	△325	△405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,027	△563
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△594	426
現金及び現金同等物の期首残高	6,713	5,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,118	6,216

（4）継続企業の前提に関する事項

当第１四半期連結会計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

【セグメント情報】

1　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

	報告セグメント		その他	合計
	スーパーマーケット（百万円）	計（百万円）	（百万円）	（百万円）
売上高				
外部顧客に対する売上高	30,975	30,975	134	31,109
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	19	723	742
合計	30,994	30,994	857	31,852
セグメント利益	887	887	55	943

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業等を含んでおります。

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

	報告セグメント		その他	合計
	スーパーマーケット（百万円）	計（百万円）	（百万円）	（百万円）
売上高				
外部顧客に対する売上高	32,423	32,423	141	32,565
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	19	750	770
合計	32,443	32,443	892	33,335
セグメント利益	814	814	93	908

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業等を含んでおります。

2　報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

利益	前第１四半期累計期間	当第１四半期累計期間
報告セグメント合計	887百万円	814百万円
「その他」の区分の利益	55百万円	93百万円
セグメント間取引消去	△1百万円	△0百万円
全社費用	△322百万円	△328百万円
その他の調整額	323百万円	324百万円
四半期連結損益計算書の営業利益	942百万円	903百万円

（注）１　セグメント間取引消去は、主にセグメント間の固定資産売買によって生じた未実現利益に係る調整であります。
２　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社（持株会社である当社）に係るものであります。
３　その他調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社（持株会社である当社）に対する経営指導料支払額の消去であります。

３　報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

４　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な影響を及ぼすものはありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）
該当事項はありません。

4 補足情報

（1）生産、受注及び販売の状況

① 販売実績

（単位 百万円、%）

項目			前第１四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）		当第１四半期連結累計期間（自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）		前年同期比	
			売上高	構成比	売上高	構成比	金額	比率
スーパーマーケット	生鮮食品	青果	4,181	13.1	4,313	12.9	132	103.2
		精肉	3,369	10.6	3,624	10.9	254	107.6
		水産	2,730	8.6	2,874	8.6	143	105.3
		惣菜	2,828	8.9	3,023	9.1	195	106.9
		計	13,109	41.2	13,836	41.5	726	105.5
	一般食品	デイリー	5,927	18.6	6,208	18.6	281	104.7
		加工食品	8,709	27.3	9,059	27.2	350	104.0
		インストアベーカリー	462	1.5	501	1.5	38	108.4
		計	15,098	47.4	15,769	47.3	670	104.4
	住居		1,255	3.9	1,275	3.8	19	101.5
	衣料品		48	0.1	44	0.1	△4	90.6
	その他		64	0.2	60	0.2	△3	93.9
	営業収入		1,398	4.4	1,438	4.3	39	102.8
	セグメント間の内部売上高又は振替高		19	0.1	19	0.1	0	104.0
	小計		30,994	97.3	32,443	97.3	1,448	104.7
その他	外部顧客に対する売上高		134	0.4	141	0.4	7	105.9
	セグメント間の内部売上高又は振替高		723	2.3	750	2.3	27	103.8
	小計		857	2.7	892	2.7	35	104.1
合計			31,852	100.0	33,335	100.0	1,483	104.7

② 仕入実績

（単位 百万円、%）

項目			前第１四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）		当第１四半期連結累計期間（自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）		前年同期比	
			仕入高	構成比	仕入高	構成比	金額	比率
スーパーマーケット	生鮮食品	青果	3,256	14.0	3,427	14.1	171	105.3
		精肉	2,532	10.9	2,831	11.6	298	111.8
		水産	2,052	8.9	2,181	8.9	129	106.3
		惣菜	1,691	7.3	1,806	7.4	114	106.7
		計	9,532	41.1	10,246	42.0	713	107.5
	一般食品	デイリー	4,487	19.4	4,661	19.1	173	103.9
		加工食品	7,132	30.7	7,423	30.5	291	104.1
		インストアベーカリー	214	0.9	225	0.9	10	104.9
		計	11,834	51.0	12,310	50.5	475	104.0
	住居		1,049	4.5	1,021	4.2	△28	97.3
	衣料品		37	0.2	32	0.1	△4	86.9
	その他		56	0.2	51	0.2	△4	91.5
	リース原価		55	0.2	55	0.2	△0	99.0
	セグメント間の内部仕入高又は振替高		47	0.2	47	0.2	0	101.0
	小計		22,613	97.4	23,765	97.4	1,152	105.1
その他	外部取引先からの仕入高		517	2.2	525	2.2	7	101.5
	セグメント間の内部仕入高又は振替高		84	0.4	100	0.4	16	119.9
	小計		601	2.6	626	2.6	24	104.1
合計			23,214	100.0	24,391	100.0	1,176	105.1

（注） セグメント間の内部取引高を含めて表示しており、消費税等は含まれておりません。